

「感性を育む」

人間の感性が成長するか否かは、人との出会いによる出会いは後天的に獲得する財産である。一生懸命働けば、いくばかの財は築くであろう。しかし人との出会いはどれほど多くの無形の財を得るだろうか。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

街路樹の紅葉も見ごろを迎え、季節ごとに違う景色を見せてくれるのは、四季のある日本ならではの醍醐味です。子どもたちが舞い散る落ち葉に「葉っぱが追いかけてこしてる」「踊ってるよ」と心躍らせたり、「パリパリしてる」「赤くてきれいだよ」と季節の変わりを目や耳、肌で感じ取っています。感性や表現は日々の生活や遊びを通し心を動かす出来事に触れたり五感を働かせる中で見たことや感じたことを、言葉や動きで表現したり、自由に描いたりしながら養われていきます。そして人とのかかわりの中で、面白さを共感したり共鳴することで、刺激を受けさらに成長することが出来ます。人との出会いは新しい学びの機会であり、同じ価値観や考え方に心地よさを感じたり、全く別の思考に触れることで視野や世界が広がり、想像力、発想力が豊かになることもあります。保育園での異年齢活動において、年齢を越えたコミュニケーションにより相手を思いやる気持ちが育み、興味関心の幅を広げながら自己表現を楽しんでいます。乳幼児期から直接的、具体的な体験を通して心情、意欲、態度を培いながら、豊かな人生を育むために、一人ひとりの大きな力となる感じる心、感じる力を大切にしていきたいと思います。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

11月聖句

わたしの恵みはあなたに十分である。

コリントの信徒への手紙2 12章9節

11月主題

「おいしいね」0歳

- ・保育者の「ありがとう」という祈りに、うれしい気持ちを重ねる。
- ・秋の実りを共に喜び味わう。
- ・保育者や友だちとの交わりがある園の生活を楽しむ。

「ありがとう」1・2歳

- ・神さまがくださったたくさんの恵みを味わうことを通して感謝する。
- ・いろいろなことに興味を持ち、触れ、感じながら、安心して遊ぶ。
- ・自分を自由に表現し、そのことを受け止められて過ごす。

～子どもたちの姿～

散歩に出かけると、どんぐりや落ち葉など自然の宝物が沢山です。子どもたちは、気に入った宝物を集めてはいろいろな遊びに取り入れながら秋の終わりを遊びの中で感じています。春に植えたへチマも茶色くなり、収穫を行いました。乾燥して振るとカラカラと種がなる様子に面白さを感じ、楽器に見立て友だちと歌いながら演奏する姿も見られました。また、皮を剥いたり種を取り出すことで手触りが変わった事にも不思議さを感じ、掌に擦り合わせたり、穴を覗いてみたりと「なんだろう」「知りたい」という好奇心が刺激されていました。熱中した体験を通し、子どもたちの学びに向かう力を沢山伸ばしていけるよう、次への活動に繋げていきたいと思っています。



	月	火	水	木	金	土	日
11月の予定表	1	2	3 文化の日	4	5 身体測定	6	7
	8	9	10	11 収穫感謝祭	12	13	14
	15	16	17	18	19 避難訓練	20	21
	22	23 勤労感謝の日	24	25	26	27	28
	29	30 クレイシュ通信					

◎午睡時に薄手の綿毛布を使用しますので、ご家庭で用意しお持ち頂きますよう、よろしくお願ひいたします。
◎名前が薄くなってしまっているものが多く見られますので、確認をお願いします。